

令和6年度
事業計画書



災害時に備え技術系ボランティアを育成
(NPO 大工村と共催の電動工具講習)



磐田市社会福祉協議会
マスコット
キャラクター ぶくびー

社会福祉法人磐田市社会福祉協議会

目 次

項 目		ページ
【目次】		1
【令和6年度社協組織体制】		2
【基本理念】【基本方針】【重点目標】		3
【令和6年度事業推進体制の構築に向けて】		4
【実施項目】		
No.	事 業 名	ページ
1	法人運営事業	5
2	企画広報事業	7
3	地域福祉事業	8
4	ボランティアセンター運営事業	11
5	共同募金配分金事業	12
6	小口福祉資金貸付事業	13
7	福祉相談事業	13
8	成年後見事業	13
9	介護保険事業	14
10	受託事業	14
11	団体事務受託事業	15

令和6年度社協組織体制

(単位：人)

役員等	理事	12				
	監事	2				
	評議員	33				
	顧問	1				
事務局	部署等	正規	嘱託	臨時	計	
	常務理事 兼 事務局長		1		1	
	地域福祉課 課長	1			1	
	地域福祉課	総務係	4	1		5
		地域福祉係	5	2	1	8
		生活支援係	7		1	8
		成年後見支援センター	2			2
		磐田市社協ケアサービス	3	7		10
		福田地域包括支援センター	3	1		4
	計	25	12	2	39	
令和5年度 (R6.1.1時点) 計	26	10	4	40		

*R6.4.1現在

*社協職員の実数は38人 (R5は39人：R6.1.1現在)。

*成年後見支援センターの正規職員2人のうち1人は市職員。

*生活支援係の正規職員1人は、市磐田市くらしと仕事相談センター運営事業共同受託により、天竜厚生会へ出向。

*地域福祉係の嘱託事務員1人、嘱託サロン指導員1人、臨時サロン指導員人を含む。

*生活支援係の臨時通訳1人を含む。

*必要に応じて所属間の連携、応援体制をとる。

【基本理念】

やさしさ ふれあい 支え合いのまちづくり ～ 安心できるまち 磐田 ～

【基本方針】

長期化した新型コロナウイルス感染症の5類移行により、従来の生活を取り戻しつつある環境となりました。地域福祉活動も徐々に通常活動に戻って来ています。しかしながら、コロナ禍の影響の他、経済活動等の停滞による物価上昇や、高齢者等の孤独、孤立、生活困窮者の増加等、地域課題が益々深刻化する状況になっています。

令和6年度は、「第4次磐田市地域福祉計画・地域福祉活動計画」で掲げた使命を達成するため、3つの基本目標（地域福祉を担う人づくり・ふれあい、支え合い、助け合いの地域づくり・自立した生活を送れる支援体制づくり）に沿って効率的な事業運営を進めます。特に、市社協の主な活動（目標へのステップ1）と地域福祉活動計画別冊版である『地区別の指針』を柱に、地域活動者と共に地域福祉推進に取り組めます。

また、令和4年、5年の台風により、被災された地域については、健康や生活再建に関する困りごとにも継続的に対応していきます。今後も多発が予想される地震、風水害に対する地域力向上につながる取組みや、災害の種別に合わせたBCP（業務継続計画）の見直しを図ります。

生活困窮者自立相談支援事業や成年後見支援センター事業、法人後見事業や日常生活自立支援事業等の個別支援での権利擁護に関する取組みでは、地域の力も活用しながら、個別課題の解決や支援ができる体制を目指します。

居宅介護支援事業や地域包括支援センターの運営事業においては、住み慣れた地域で、その人らしい自立した生活が営めるよう、利用者本位の支援に努めます。また、すべての人が尊厳をもって共に生きる地域を目指して、関係機関と連携を重ねていきます。

【重点目標】

- 1 地域福祉教育の充実と地域福祉を担う人材の育成
(地域住民のつながり、支え合いによる地域共生社会の実現に向け全世代の福祉への関心を高め、学びの場・人づくりの講座の開催)
- 2 地域の権利擁護支援体制の充実・整備
(権利擁護事業、福祉なんでも相談窓口等と地域福祉活動の相談連携機能強化)
- 3 行政や福祉関係機関との事業の方向性の共有と連携
(第4次地域福祉活動計画の推進と行政等関係団体との対話、協働)
- 4 高齢者や周困の方に寄り添った相談援助の提供
(居宅介護支援事業所、地域包括支援センターの経営安定と、サービスの質の向上を目指すとともに、複合課題や制度の狭間のニーズ等にも積極的に取り組めます)
- 5 中長期的な経営管理と状況に即した事業運営体制の整備
(役職員等による中期経営計画の研究・策定検討、自主財源確保のための啓発強化)

【令和6年度 事業推進体制の構築に向けて】

1. 生活支援コーディネーターの役割と位置づけの明確化

R5年度、市高齢者支援課の提案する『自立支援モデル共創プロジェクト』にリハビリ専門職(理学療法士等)、モデル包括と共に、生活支援コーディネーター(市社協地区担当者)が個別ケースに関わりフレイル(虚弱)予防に協力しました。

その結果、R6年度からは、新規介護保険申請者で、フレイルの方を対象とした自立支援に引き続き協力、実践する中で、生活支援コーディネーターの今後の役割と位置づけについて、市担当課と対話していきます。

2. 地域の権利擁護支援体制の充実・整備

『磐田市成年後見支援センター』の中核機関としての機能充実を図ります。

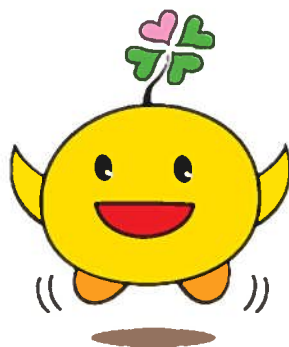
「法人後見事業」や「日常生活自立支援事業」の権利擁護事業に加え、新たな権利擁護支援の仕組みの検討を進めます。

地域連携ネットワークの構築を図り、地域における権利擁護支援の包括的な体制整備を進めます。

3. 『中期経営計画』策定に向けての役職員等による研究・検討

理事、評議員の意見を積極的に取り入れた計画策定を目指します。

- ◎ 社協の使命や経営理念、基本方針等の全役職員への浸透。
- ◎ 理事会等による計画策定の意思決定。
- ◎ グループワーク等を活用した意見交換の場の設定。
- ◎ 社協会費や赤い羽根共同募金の財源確保に関する意見交換。



1 法人運営事業

中長期的に安定した法人運営が行えるよう、経営の視点も取り入れた事業執行や自主財源確保に努めます。

項目	事業内容等
1) 本所運営事業 (総務・財務)	① 法人の運営
	② 各種会議の運営等 ・ 理事会、評議員会、三役会議、評議員選任・解任委員会 ・ 専門部会（法人運営部会、地域福祉推進部会、生活支援推進部会） ・ 資金管理委員会、法人後見運営委員会 ・ 社協だより編集会議（年4回）
	③ 監査の実施 ・ 監事監査（年2回） ・ 内部監査（定期監査・臨時監査） ・ 顧問税理士による外部監査
	④ 職員会議の実施 ・ 事務事業調整会議（月1回） ・ 再発防止対策実行委員会（年1～2回程度）
	⑤ 規程等の改廃事務
	⑥ 中期経営計画の研究・検討
	⑦ 各種計画等の推進 ・ 第4次地域福祉活動計画の推進（R5～R8年度・4か年）
	⑧ 事務事業評価（年1回）による事業の検証
	⑨ 再発防止具体策の継続実施
	⑩ 苦情受付対応
	⑪ 各種法改正への対応
	⑫ 一般・賛助会費の募集
	⑬ 寄附金の受付
	⑭ 承認社会福祉充実計画に基づく事業実施
	⑮ マイクロバス2台運行

項 目	事業内容等
1) 本所運営事業 (総務・財務)	<p>⑯ 磐田市共同募金委員会として静岡県共同募金会募金募集業務へ協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 磐田市共同募金委員会運営委員会の開催（7月） ・ 赤い羽根共同募金運動（募金の周知・募集、活動促進等）の実施 <p>⑰ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイクロバス、車輛（福祉車輛含む）の点検・整備 ・ 貸出用車椅子の整備 ・ 災害義援金の募集 ・ ソーシャルワーク実習（社会福祉士受験資格取得課程）受入れ
2) 職員設置費 (労務・人事・職員育成)	<p>① 職員健康診断（6月）、ストレス診断チェック（8月）の実施</p> <p>② 人事評価制度の運用</p> <p>③ 職員研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研修の積極的な活用 ・ 内部研修の充実（職員全体研修、プロジェクト等含む。） ・ マネジメント能力向上に係る研修（外部研修） <p>④ 職員資格取得助成制度の拡充と活用推奨</p>
3) iプラザ貸館業務	① ふれあい交流室及び研修室の貸館業務の受託
4) 生活福祉資金相談事業	① 県社協受託事業（貸付事務及び相談等体制整備事業）
5) 防災体制整備事業	<p>① 大規模災害に対応できる組織基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市、県及び関係機関・団体との連携強化 ・ 市との災害協定に基づく連携体制強化・情報共有体制構築 ・ 関連マニュアルに基づく訓練の実施（12月） ・ 災害ボランティアセンター運営での ICT 活用推進 ・ 防災用品及び災害ボランティア活動資機材の計画的整備 ・ 磐田青年会議所との災害協定に基づく連携体制強化 ・ 玉野市社協、駒ヶ根市社協との相互支援協定に基づく連携 ・ 災害対応マニュアル等の見直し <p>② ボランティアや支援団体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害ボランティアコーディネーターのグループ活動の支援 ・ 災害ボランティアコーディネーターの実践力の強化 ・ いわた減災ネットワーク連絡会への参加協力 ・ 専門ボランティアと災害ボランティアとの交流講座 <p>③ 関係機関・団体との災害時における相互応援協定締結検討</p>

2 企画広報事業

様々な媒体を効果的に活用した社協事業の見える化により、多世代の住民との双方向のコミュニケーション推進や自主財源確保につなげます。

項目	事業内容等
1) 社協だより発行事業	① 社協だよりの年4回（6、9、12、3月予定）発行と内容の充実
2) マスコットキャラクター啓発事業	① 社協キャラクター「ふくぴー」及び関連グッズの有効活用
3) ホームページ等事業	① ホームページへの最新情報の掲載等、定期的な更新作業の実施
	② 福祉教育にも活用できる新規ページ検討・追加
	③ アクセス解析による閲覧者の傾向分析
	④ 災害関連情報専用ページの活用
	⑤ SNS（Facebook, Instagram）を活用した情報拡散による広報
4) 社会福祉大会	① 磐田市社会福祉大会の開催（2月）
5) 地域福祉ニーズ把握事業	① せいかつ応援倶楽部を中心とした、個別生活課題のニーズ把握
	② 生活支援体制整備事業による地域状況の見える化と支援ニーズ把握
	③ 『福祉なんでも相談窓口』設置による地域ニーズ把握
	④ 日常生活自立支援事業や法人後見事業からのニーズ把握



社協だよりの発行を SNS でお知らせ



若者にスポットを当てた広報企画
(若者座談会にご参加いただいたみなさん)

3 地域福祉事業

社会情勢の変化に対応できる 地域福祉活動の推進、人や地域のつながりを大切に
し、支え合いや助け合い支援に努めます。

項 目	事業内容等
1) 地区社協事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 地区社協等（地域づくり協議会福祉部会又は地区社会福祉協議会）の活動支援と財政支援 ② 地区社協等連絡協議会の運営（年3回）※第2回・第3回は福祉委員会連絡協議会と合同実施 ③ 地区担当兼生活支援コーディネーター（SC）との連携協働 <ul style="list-style-type: none"> ・地域せいかつ応援倶楽部の普及促進・運営支援 ・自治会長、民生委員・児童委員、福祉委員等経験者の人材活用促進 ・地区社協等の趣旨に賛同した住民が参画できる活動の支援 ④ 地区担当兼SCの機能強化（連絡会月1回）
2) 福祉委員制度	<ul style="list-style-type: none"> ① 福祉委員会連絡協議会の運営、地区社協等連絡協議会との合同実施（年3回） ※第2回・第3回は合同開催 ② 地区社協等の傘下で活動する福祉委員活動への支援 ③ 地域の団体や他の委員との連携による見守り体制づくり支援 ④ 福祉委員の研修支援の充実
3) 人材養成講座	<ul style="list-style-type: none"> ❶ セーフティドライブ講習会の開催（新規登録者向け） ② ほっとな地域づくり仕掛け人と磐田市ボランティア登録制度の統合についての検討 ③ 福祉教育パートナー連絡会（年2回）、みんなの福祉教育（年1回）の開催 ④ サロンボランティアスキルアップ講座（年1回） ⑤ ひきこもり支援に関わる人材育成・こころに寄りそうボランティア研修会の開催とネットワークづくり（年1回） ⑥ 壮年熟期活躍プロジェクト『社会参加促進講座』1交流センターで開催 ⑦ 講座修了者のフォローアップおよび自主グループの活動支援 ⑧ 他機関、団体と連携した福祉の心育成事業の充実 ⑨ 地域福祉人材養成のための一体的プログラムによる講座開催
4) せいかつ応援倶楽部 (住民参加型生活支援事業)	<ul style="list-style-type: none"> ① せいかつ応援倶楽部事業の実施推進と地域との連携強化 ② せいかつ応援倶楽部地域支援員連絡会（年1回） ③ せいかつ応援倶楽部地域支援員説明会（年1回） ④ 地域せいかつ応援倶楽部懇談会（年1回）

項目	事業内容等
5) 子育て支援事業	① 子育てサロンの充実と子育て支援員の活用促進
	② 地域主体の子育て支援事業の模索と支援
	③ 子育て支援関係者との連携
6) 介護予防地域事業	① 高齢者サロンの充実と介護予防のための情報発信
	② 高齢者サロンボランティアの育成と活動促進
	③ サロン指導員による訪問、活動支援、立ち上げの支援
	④ 地区社協等と高齢者サロンの連携促進
	⑤ 高齢者サロン代表者連絡会（年2回）
	⑥ 配食ボランティア活動の支援
7) 福祉車両等貸出事業	① 福祉車両貸出（2台）
	② 車いす貸出事業（公的制度外の一時的な利用ニーズに対応）
8) 障害者福祉事業	① こころに寄りそうサロンの充実とボランティアのスキルアップ
	② みんなの福祉教育による啓発活動
9) 福祉教育事業	① 市内園・校への福祉の心育成事業助成金交付
	② 地域の福祉教育支援、福祉教育サポーターと共に学校出前講座の提供
	③ 福祉お助け用品の貸出
	④ ピクトグラム作品募集



せいかつ応援倶楽部地域支援員連絡会



みんなの福祉教育

項目	事業内容等
10) 地域福祉活動計画	① 第4次地域福祉活動計画の推進（R5～R8） ・地域福祉推進会議での年度ごとの計画評価、進捗管理 ② 地域福祉懇談会やアンケートを活用した地区別の活動推進の支援
11) 生活支援体制整備	① 生活支援体制整備事業の市との協働 ② 第1層生活支援コーディネーター（SC）の配置 ③ 第2層生活支援コーディネーター（SC）の配置 ④ SCと地区社協等と包括等関係団体の協働による第2層協議体の開催 ⑤ 市内社会福祉法人連絡会(プロジェクト等)の開催 ⑥ 『福祉なんでも相談窓口』設置による法人施設との連携 ⑦ 団塊世代や壮年熟期を対象とした地域福祉活動者の活動促進 ⑧ 住民参加型生活支援事業“地域せいかつ応援倶楽部”の活動支援 ⑨ 福祉関係機関（市民児協、相談機関、福祉施設等）との連携強化 ⑩ 生活支援コーディネーターNEWS（通信）の発行 ⑪ 社会参加の場(通いの場、居場所等のインフォーマルサービス)の把握 ⑫ 市 地域リハビリテーション活動支援事業への協力
12)集まる方法の多様な 仕組みの支援	① 既存の地域福祉活動団体（サロン等）へのつながりの継続支援 ② Zoom等を利用した各種会議や打ち合わせの開催 ③ Zoom等を利用した福祉教育や人材養成講座等の開催



地区社協と関係機関による第2層協議体
(向陽地区社協情報交換会)



法人プロジェクト職員による学校出前講座

4 ボランティアセンター運営事業

センターの機能強化を通して地域のボランティア・市民活動団体の支援をします。

項目	事業内容等
1) ボランティアセンター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ① ボランティアセンターの施設利用促進 目標：利用件数 1,300 件以上 ② ボランティア相談充実とコーディネート力向上 目標：120 件以上 ③ 磐田市ボランティア登録制度を通じた市民活動センターとの協働とボランティア活動の活性化 ④ 磐田市ボランティア登録制度のホームページを活用した情報発信 ⑤ 労働者組織や大学、専門学校等との事業連携強化 ⑥ 小中学生、高校生、大学・専門学校生、一般ボランティア活動の場の確保と情報提供 ⑦ 福祉施設へのボランティア受入状況の確認とボランティア担当者連絡会の開催 ⑧ ICT に対応できるボランティア人材の育成 ⑨ ほっとな地域づくり仕掛け人と磐田市ボランティア登録制度の統合についての検討
2) ボランティア団体支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ① ボランティア連絡協議会運営支援 ② ボランティア連絡協議会加入促進 ③ ボランティア・福祉団体の把握とネットワークづくり
3) ボランティア活動保険加入促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ① ボランティア活動保険加入促進



地域活動者のための
やさしいスマートフォン講座



静岡産業大学による高齢者サロンでの
ロコモ調査と健康体操の調整

5 共同募金配分金事業

皆様の“やさしさ”を、募金を通じて、支援を必要とされる方々に届けます。

項目	事業内容等
1) 一般募金配分事業	① “赤い羽根” 地域せいかつ応援倶楽部助成事業
	② “赤い羽根” 児童遊び場整備事業
	③ “赤い羽根” 福祉教育事業
	④ 地域福祉人材育成講座事業
	⑤ 福祉教育サポーター養成事業
	⑥ 精神障害者サロン
	⑦ 社協だより発行事業
	⑧ 福祉お助け用品貸出事業
	⑨ “赤い羽根” 福祉団体活動助成事業
	⑩ 社会福祉大会
	⑪ 福祉団体交流事業
	⑫ 災害ボランティア活動支援事業
2) 地域歳末たすけあい募金配分事業	① 生活困窮世帯への歳末支援金配付の実施
	② 福祉団体等への年末年始地域福祉活動への赤い羽根助成事業
	③心に寄り添うサロン
	④生活困窮者支援事業



“赤い羽根” 児童遊び場整備事業
(於保をよくする会 遊具の補修)



“赤い羽根” 福祉教育事業
(竜洋東小学校 当事者講師による講話)

6 小口福祉資金貸付事業

貸付事業を通して、生活に困窮された方が自立した生活を営めるよう支援します。

項目	事業内容等
1) 生活困窮者の貸付相談	① 県社協生活福祉資金、市社協小口福祉資金の貸付相談事業の実施
	② 関係機関および民生委員・児童委員との情報共有と連携強化
	③ フードバンク等からの食糧支援の実施
	④ 生活困窮者の自立支援に関係する機関との連携強化
2) 借受人の償還指導	① 借受人の生活状況の確認と貸付金償還指導の実施

7 福祉相談事業

誰もが安心して幸せな生活を送れるよう、相談支援をします。

項目	事業内容等
1) 福祉なんでも相談	① 福祉なんでも相談の実施（本所正規職員が相談対応）
	② 職員の相談援助技術の向上
2) 結婚相談	① 結婚相談事業の実施
	② 4市社協結婚相談事業との連携

8 成年後見事業

認知症や知的・精神障害等により判断力が十分でない方の自己決定の尊重を支援するため、成年後見事業を推進します。

項目	事業内容等
1) 成年後見事業	① 成年後見事業（法人後見・後見監督）の実施
	② 市民後見人への移行促進

9 介護保険事業

利用者や家族に寄り添った支援をします。

項目	事業内容等
1) 磐田市社協 ケアサービスの経営	① 介護保険事業（居宅介護支援事業）の経営安定化とサービス向上
	② 他職種や他機関との連携強化
	③ 多重問題を抱える利用者への積極的支援
	④ 介護支援専門員の質の向上

10 受託事業

県社協や市からの受託事業により、関係機関との連携強化に取り組み、市民の幅広い福祉ニーズに対応していきます。

項目	事業内容等
1) 日常生活自立支援事業	① 日常生活自立支援事業の実施（相談、契約・支援計画に基づく支援）
	② 生活支援員連絡会の実施（年1回）
2) 生活福祉資金相談事業	① 生活福祉資金貸付相談
	② 借受人の償還指導の実施、生活状況の確認
3) 福田地域包括支援 センターの運営事業	① 包括的支援事業 （総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント）
	② 認知症総合支援業務
	③ 在宅医療・介護連携推進事業
	④ 介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防ケアマネジメント、一般介護予防事業）
	⑤ 多職種協働による地域包括支援ネットワーク
4) 成年後見支援センター 運営事業	① 【広報】成年後見制度利用促進セミナー（市民及び支援者対象）
	② 【相談】権利擁護相談、申立相談支援
	③ 【利用促進】権利擁護検討会（受任調整）、市民後見人候補者フォローアップ研修会（年4回）
	④ 【後見人支援】親族及び市民後見人支援、権利擁護支援チーム支援
5) 生活困窮者自立相談 支援事業	① 生活困窮者自立相談支援事業の共同法人受託 『磐田市くらしと仕事相談センター』の運営
6) i プラザ会議室貸出	① ふれあい交流室及び研修室の予約受付と貸出

11 団体事務受託事業

団体運営の支援を通して、活動しやすい環境づくりと連携促進を図ります。

項目	事業内容等
1) シニアクラブ磐田市 事務局事務	① シニアクラブによる健康・友愛・奉仕活動の支援
	② 組織活性化と基盤強化のための取り組み支援
	③ 小地域での連携による見守りや介護予防、社会参加活動の支援
2) 磐田市ボランティア 連絡協議会 運営支援	① 組織基盤の強化と自立運営の支援
	② 団体間の連携づくりのためのネットワーク活動の支援
	③ 未加入団体の加入促進・活動支援
	④ ボランティアだよりの内容充実と情報発信



シニアクラブグランドゴルフ大会



ボランティア連絡協議会団体長会